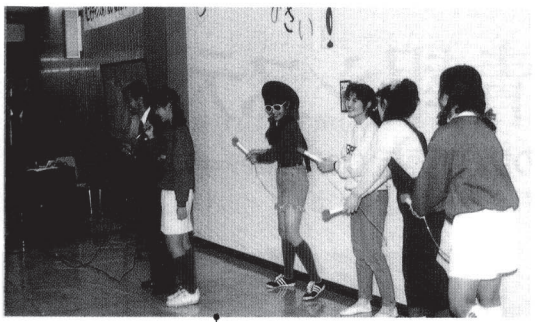

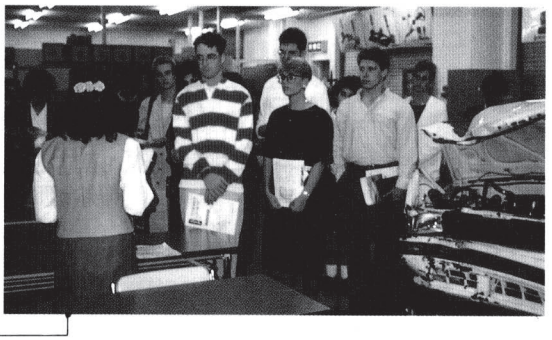

システム開発部

新兵器投入で総決起大会開催

システム部門の生産性向上、開発力アップを目的とした「Up & Up運動……フレッシュアップで仕事の見直し、レベルアップで力の向上」の決起大会が開催されました。

その懇親会場に登場したのが、システム要員の教育・研修用ツールとして話題の〝液晶ビジョン〟。転入者研修から資料の拡大投影に、ビデオ教材の映写にと活用を開始しましたが、ここではレーザーカラオケのディスプレイに早変わり。カラオケスナックよりすごい(?)迫力で、パーティーの盛り上げに大きく貢献しました。

なお、この新兵器、「カラーの資料がそのまま見られる」、「画面が大きい（60インチ）のでビデオ教材が見やすい」など、教育・研修面では当然のことながら好評です。

能力開発部

米国大学生が来訪

10月6日、ネブラスカ州立大学とペンシルベニア州サスケハナ大学の学生14名が当社にやってきました。これは、両校の姉妹校である専修大学からの要請で、正式な履修授業の一環として受け入れているものです。当社での研修は、日本の損保事情、安田火災の紹介、能力開発体系の説明、質疑応答、社内見学とハードでしたが、学生達は熱心に聴き入っていました。

本営、ATP、ビデオルーム、運用ルーム、美術館などを見学して、〝Seeing is believing〟のことわざどおり、〝世界の安田火災〟を肌に感じながら帰っていきました。

海外の若いビジネスマンや学生達を研修などに受け入れていくのも、「世界のリーディングカンパニー」をめざす当社の使命の1つです。

人事部

「先人の碑」第2回慰霊祭

10月24日、紅葉美しい韮崎の丘において、後藤社長をはじめ役員室、関連部店長、労働組合委員長、社友会・関連会社・代理店の代表が出席し、「先人の碑」第2回慰霊祭が執り行われました。

当日は澄み渡る青空のもと、物故者の芳名板のお納め、黙禱（とう）、社長の祭詞奏上、ひきつづき参列者全員で物故された諸先輩に感謝の意を込めて、白菊を献花しました。そして、本年も安田火災と関連会社の役職員および当社代理店で新たに物故された方々を合祀（し）いたしました。

安田火災記念財団

損保講演会を開催

安田火災記念財団では11月10日、安田火災本社ビル2階大会議室で、倉沢康一郎氏（慶応大学法学部教授）による講演会を開催しました。

講演テーマは、「損害保険事業の発展と保険法」と題し、損害保険事業全般について幅広い角度から、共済問題、業法改正問題、消費者意識と保険判例の増加傾向、積立型保険の理論構成、高齢化社会における損害保険事業のあり方など、ホットな問題について示唆に富んだご意見を展開されました。

記念財団では、近く本内容を財団叢書として刊行配布する予定です。